

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月8日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大船渡市	代表者名	戸田 公明
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0192-27-3111
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	濱田 真輔
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	研修では、「組織の目的は継続すること」を前提に、激変する社会情勢に対応するために管理職員がどう行動すべきかを、実践的に学んだ。 とりわけ、ICTの効果よりも人間同士の関係性改善が効果的であり、そのためにはコミュニケーションやほめることが大切であるという点が参考になった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月6日	8時30分	17時00分	90	420
3-2. 派遣場所	会場名	大船渡市役所		最寄駅	JR盛駅
	所在地	岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15番地			
	最寄駅からの交通手段	公用車			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市部課長級職員(管理職員)、課長補佐級職員	89人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	(1) 行政事務の改革・改善の必要性が理解されず、手法に関する知見も少ない (2) 行政事務へのICT技術の導入が進まず、生産性が向上しない (3) 縦割り意識が根強く、大胆な改革・改善が進まない (4) 行政事務の改革・改善に関し、職員の意見が出ない、共有されない、実現しない	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市の管理職員に (1) 地域情報化の進展に係る社会情勢を理解させ、 (2) 当市役所の課題(組織、事業、業務、事務のあり方等)を考えさせ、 (3) 課題解決のための具体的な行動(変革)を促す	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・以下の10班に分かれて「自慢できる大船渡市」、「第3者から見て魅力のある大船渡市にするためのアイデア」についてグループワークを行った。 ・作業班=政策班、(市民)協働班、インフラ班、産業班、商工班、福祉班、市民班、防災班、監視班、バックオフィス班 ・さらに班替えをして「若者がやめる理由とその対策」についてグループワークを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・管理職員とその候補生である課長補佐級職員が、同一テーマで意見交換することにより、所属部署や階層を越えたコミュニケーションのあり方を体得できた。 ・「大船渡の魅力」「その魅力をどう伝えるか」等のアイデアについて市民感覚で意見を述べることにより、多様な視点から気軽に議論することの重要性を学んだ。 ・管理職員が部下に対し日常的にほめることが職場の雰囲気改善し、若手職員の建設的意見を引き出す大きな要素になることを体験的に学んだ。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	管理職員の意識づけは今回の研修である程度なされたが、組織を変えるムーブメントを起こすには、若手職員の意識改革を進め、具体的な行動に結びつけることが必要であるという新たな課題を認識するに至った。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 「組織の目的は継続すること」であるという言葉が印象的であった、コミュニケーションの大切さを再認識した、という感想が多く、多くの職員に気付きのある研修となった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	・最終目標：ICT技術の活用により市の行政事務効率が向上し、職員がやりがいを感じながら真に取り組みべき業務を遂行できる職場環境が整う。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

